

WCRP

7

2024

July

No. 537

World Conference of Religions for Peace Japan



第3期『平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー』を開催（横浜山手聖公会）

こころの扉——「聖なるつながりあういのち (Shared Sacred Wellbeing) を受け入れる
——宗教的行動への呼びかけ——」フランシス・クーリア・カゲマ … 2

第48回理事会・第28回評議員会 …………… 3～5

WCRP日本委員会会長交代 …………… 6

和解の教育タスクフォース主催

 第3期『平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー』実施…………… 7

青年部会 弓矢八幡のチャリティーバザーへブース出展 …………… 8

今月のWCRP新熟語、WCRPの活動 …………… 8



「聖なるつながりあういのち (Shared Sacred Wellbeing) を受け入れる—宗教的行動への呼びかけ—」

人間の存在と多様な宗教的・信仰的信条の織り成す**綴織**には、人類と私たちの共通の故郷である地球の繁栄を確保するという、共有された聖なる責任がある。宗教の教えであれ、スピリチュアルな哲学に根ざしたものであれ、私たちの世界観は、すべての生きとし生けるものの尊厳を守り、相互につながりあう生命の網を保護するために協力して取りくむよう、私たちを招き寄せている。

歴史の岐路に立つ今、聖なるつながりあういのちを受け入れる必要性は、かつてない緊急性をもって鳴り響いている。国連難民高等弁務官事務所によると、2024年末までに、紛争や迫害、環境悪化から逃れるために1億3500万人もの人々が避難生活を余儀なくされると予想されている。この人道的危機

WCRP / RfP
国際委員会事務総長

フランシス・
クーリア・カゲマ



は、人間性の共有という概念と相反するものであり、国境を越えた思いやりを指針として受け入れることを私たちに求めているのである。

このような苦しみを前にして、宗教者は深い責任を負っている。私たちの多様な信条と伝統は、きらびやかな豊かさや極端な困窮が共存する世界を拒否するよう私たちに強いるものである。不平等と不正のシステムを解体し、地球の豊かさをすべての人々に公平に分配することが不可欠である。

野放図な貪欲と消費主義による自然破壊は、神の秩序に対する重大な違反である。マーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師は「私たちは逃れられない相互性のネットワークに巻き込まれ、運命というひとつの衣で結ばれている。一人に直接影

響するものは、間接的にすべてに影響する」と述べている。私たちの運命は地球の運命と絡み合っており、自然界を冒瀆することは、被造物の管理者の神聖な信頼を裏切ることである。

聖なる繁栄を共有するために、私たちはあらゆる生命を尊重し、一人ひとりの本質的価値を尊重するという呼びかけに耳を傾けなければならぬ。教皇フランシスコは回勅『ラウダー・ト・シ』の中で、この基本的な真理を強調し、社会的・環境的・経済的正義が相互に関連していることの認識を促している。実際、人類の繁栄は、生態系の健全性と切っても切れない関係にある。

さらに、聖なるつながりあういのちを追い求めることは、不平等と搾取の根本原因に立ち向かうことを要求する。それは社会から疎外された状態を永續させ、社会の大部分に基本的な権利を否定する抑圧のシステムに挑戦することを私たちに強いるものである。

これらの深遠な真実に思いを馳せながら、私たちが日常生活の中で神聖なつながりあういのちを体現する方法を考えてみよう。疎外された人々の声を聞き、公平と正義を促進する政策を提唱しよう。連帯と共感の精神を培い、私たち一人ひとりの行動が人類の運命共同体を形成する力を持っていることを認識しよう。私たちが団結し、聖なるつながりあういのちへの揺るぎないコミットを通して、私たちは慈悲、公平、正義が実現する未来への道を開くことができるのである。

世界レベル、地域レベル、国レベルで活動するWCRP/RfPは、世界が直面している紛争や苦しみを生み出す不正義や抑圧の根本原因に取り組むプロセスや行動を実施していく上で、ユニークな特徴がある。私たちの宗教指導者は、それぞれの信仰と地域社会との深い結びつきを持ち、慈悲、愛、慈愛の価値観に基づく社会変革の波を大きくし、共通善を犠牲にした個人主義的な貪欲と自己満足に対し、効果的に立ち向かうことができるのである。

私たちWCRP/RfP国際事務局は、世界的な運動と宗教指導者を支援することを約束する。私たちは、これが神の恩寵を受けける神聖な義務であると信じているのだ。

第48回理事会・第28回評議員会

第48回理事会が6月4日、神社本庁地下1階会議室（東京都渋谷区）で開催され、理事19人が出席した。「日本委員会人事」2023年度事業報告」2023年度決算報告」「平和のためのAI倫理国際会合」「規約



理事会



評議員会

の改正（就業規則）」「WCRP運営の改善に向けて」「第28回評議員会開催について」を審議し、全て可決した。

議事項の「日本委員会人事」では、任期満了に伴う評議員改選に際し、5月24日に開催された評議員選定委員会の報告がなされた。席上、議長を務める庭野日曠会長が辞意を表明し、評議員会議長の互選の結果、満場一致で杉谷義純評議員が議長（WCRP日本委員会会長）に選出された。日本委員会人事で選任された役員は次の通り。（敬称略）。

名譽顧問
大樹孝啓（天台座主）
大谷光真（浄土真宗本願寺派前門主）
鷹司尚武（神社本庁統理）

顧問
植松 誠（日本聖公会主教）
加藤隆久（生田神社名誉宮司）
黒住宗晴（黒住教名誉教主）
蘭田 稔（秩父神社名誉宮司）
出口 紅（大本教主）
中島精太郎（明治神宮名誉宮司）
西田多戈（一燈園禱座）
舟橋雅美（伏見稲荷大社宮司）
前田万葉（カトリック枢機卿）
南澤道人（曹洞宗管長）
宮本恵司（妙智會教団法嗣）
持田日勇（日蓮宗総本山身延山久遠寺法主）
安田暎胤（法相宗大本山薬師寺長老）

会長（評議員会議長）
杉谷義純（天台宗妙法院門跡門主）

評議員
菊地 功（カトリック東京大司教区大司教）
北河原公敬（東大寺長老）
九條道成（明治神宮宮司）
熊野隆規（立正佼成会理事長）※新任
獅子王圓明（比叡山延暦寺執行）※新任
鈴木裕治（妙智會教団理事）※新任
田中恆清（神社本庁総長・石清水八幡宮宮司）
深田充啓（円応教教主）
浜島典彦（日蓮宗総本山身延山久遠寺総務）※新任
三宅光雄（金光教泉尾教会会長）
吉高 叶（日本キリスト教協議会議長）

監事
利根康教（寒川神社宮司）
中村陽一（税理士）
三鍋 裕（日本聖公会主教）
理事長（代表理事）
戸松義晴（浄土宗総合研究所副所長・浄土宗心光院住職）

理事
阿部昌宏（天台宗事務総長）
上原榮正（日本聖公会首座主教・沖縄教区主教）※新任

- 牛尾 淳（神社本庁教化広報部長）
- 岡野英夫（解脱会理事長）
- 大嶋果織（日本キリスト教協議会総幹事）
- ※新任
- 鎌田紀彦（大宮八幡宮宮司）
- 木下龍輝（明治神宮権宮司）
- 来馬宗憲（曹洞宗宗議会議員・江岸寺住職）
- 黒住宗道（黒住教教主）
- 小林龍雄（大本本部長）
- 橘重十九（北野天満宮宮司）※新任
- 田中庸仁（真生会会長）
- 徳増公明（日本ムスリム協会前会長）
- 永尾教昭（天理大学前学長）
- 中村倫明（カトリック長崎大司教区大司教）
- 庭野光祥（立正佼成会次代会長）
- 久田哲也（神宮司廳総務部長）
- 弘中貴之（浄土真宗本願寺派総務）
- 三宅善信（金光教春日丘教会会長）
- 宮西修治（日枝神社宮司）
- 宮本泰克（妙智會教団代表役員）
- 山本俊正（元関西学院大学教授）
- 八坂應澄（中山身語正宗管長）
- 和田恵久巳（立正佼成会総務部長）※新任
- 竹村牧男（東洋大学名誉教授）*平和研究所所長
- 松井ケティ（清泉女子大学教授）*女性
部会部会長 ※新任
- 大西英玄（北法相宗音羽山清水寺成就院住職）*青年部会幹事長
- 國富敬二（立正佼成会前理事長・徳島教会会長）*特別会員
- 参与（理事会で推薦、評議員会で承認）
- 川端健之（立正佼成会前顧問）
- 小橋孝一（日本キリスト教協議会元議長）
- 小堀光實（天台宗三千院門跡門主）
- 高見三明（カトリック長崎大司教区名誉大司教）
- 宝積玄承（臨済宗東光寺住職）
- 山崎龍明（武蔵野大学名誉教授・浄土真宗本願寺派法善寺前住職）
- 山田能裕（天台宗滋賀院門跡門主）
- 渡部 信（日本キリスト教協議会前議長）
- 特別会員
- 大西英玄（北法相宗音羽山清水寺成就院住職）
- 國富敬二（立正佼成会前理事長、徳島教会会長）
- 高地 敬（日本聖公会京都教区主教）
- 宍野史生（扶桑教管長）
- 杉野恭一（立正佼成会学林学長）
- 中村憲一郎（佼成学園理事長）
- 林 丈嗣（弓矢八幡教主）
- 前島宗甫（日本キリスト教協議会元総幹事）
- 三輪隆裕（日吉神社宮司）
- 矢萩新一（日本聖公会管区事務所総主事）
- 山本行恭（椿大神社宮司）
- 活動委員
- 赤井悠蔵（カトリック東京大司教区大司教秘書・広報）※新任
- 赤川恵一（立正佼成会国際伝道部部长）
- 石川清哲（妙法慈石会登陵山清川寺代表役員）
- 榎本光良（立正佼成会時務部長）
- 加瀬育代（立正佼成会総務部渉外グループ）
- 川上直哉（日本キリスト教団石巻栄光教会主任担任教師）※新任
- 小林恵太（カトリックアトムメントのフランチスコ会修道士）
- 佐藤裕一（日本ムスリム協会副会長）
- 佐原透修（立正佼成会総務部渉外グループ次長）
- ジョージ・ギッシュ（青山学院大学名誉教授）
- 中西正史（寒川神社権禰宣）
- 橋本伸作（大本東京宣教センター長）
- 堀川剛史（解脱会教育部主任）
- 松本 廣（仏教徒）
- 水谷 周（日本宗教信仰復興会議理事長、日本ムスリム協会理事）※新任

- 三井紳作（神社本庁教化広報部広報国際課課長）
- 三善健雄（立正佼成会総務部渉外グループ主任）
- 八坂憧憲（中山身語正宗本部長）※新任
- 力久道臣（善隣教教主）
- 事務局長
- 篠原祥哲
- 評議員選定委員会
- 石井研士（國學院大學神道文化学部教授）
- 大貫康雄（ユーラシア21研究所理事、元NHKヨーロッパ総局長）
- 三鍋 裕（監事・日本聖公会主教）
- 北河原公敬（東大寺長老）※新任
- 篠原祥哲（WCRP日本委員会事務局局長）
- 総合企画委員会
- 牛尾 淳（神社本庁教化広報部長）
- 大西英玄（北法相宗音羽山清水寺成就院住職）
- 黒住宗道（黒住教教主）
- 松井ケティ（カトリック、清泉女子大学教授）※新任
- 竹村牧男（東洋大学名誉教授）*平和研究所所長
- 和田恵久巳（立正佼成会総務部長）※新任
- 篠原祥哲（WCRP日本委員会事務局局長）
- 平和研究所
- 竹村牧男（東洋大学名誉教授）*所長
- 西原廉太（立教大学総長）*副所長
- 金子 昭（天理大学付属おやさと研究所教授）
- 齋藤忠夫（東北大学名誉教授）
- 藤本頼生（國學院大学教授）
- ホアン・マシア（元上智大学教授）
- 松井ケティ（清泉女子大学教授）
- 森 伸生（拓殖大学イスラーム研究所所長・日本ムスリム協会理事）
- 女性部会
- 松井ケティ（清泉女子大学教授）*部会長
- 長 ※新任
- 河田尚子（アル・アマーナ代表）*副部会長
- 田中佑佳子（立正佼成会）*事務局長
- 黒住昭子（黒住教婦人会会長）
- 小宮山延子（カトリック）
- 早乙女澄子（妙智會教団婦人部本部長）
- 眞田 翠（立正佼成会）
- 田爪希依（立正佼成会調布教会教会長）
- 対馬真堵美（カトリック東京大司教区アレルヤ会）
- レルヤ会
- 林 恵智子（全日本仏教婦人連盟顧問）
- 深田章子（円応教智章、海外布教センター所長）
- 藤田民子（一燈園）
- 本多端子（全日本仏教婦人連盟理事）
- 森脇百合（日本聖書協会主事補、カトリック東京大司教区アレルヤ会副会長）※新任
- 和田恵久巳（立正佼成会総務部長）
- 名誉委員・森脇友紀子（カトリック東京大司教区アレルヤ会会長）※新任
- 青年部会（理事会で選任）
- 大西英玄（北法相宗音羽山清水寺成就院住職）*幹事長
- 加藤大志（服部天神宮禰宜）*副幹事長
- 齋藤佑助（立正佼成会習学部青年ネットワークグループ）*事務局長
- 穴井賢太郎（大本青年部長）
- 提箸照之（足利伊勢神社禰宜）
- 杉谷義恭（天台宗国際平和宗教協力協会専門委員）
- 館野庸子（解脱会教務部健康指導係）
- 谷野創流（一燈園）
- 新島公彰（妙智會教団青年部副部長）
- 林 大道（弓矢八幡副教主）
- 日比洸紹（曹洞宗禅林寺副住職・シャンティ国際ボランティア会）
- 村上泰教（石鎚山真言宗総本山極楽寺教学部部長）
- 八坂親准（中山身語正宗青年本部長）
- 山本賢潤（比叡山延暦寺教化部主事）
- 鷲尾龍華（東寺真言宗大本山石山寺座主）
- 和田海二（日本ムスリム協会）

WCRP日本委員会会長交代

6月19日立正佼成会京都教会で開催されたWCRP日本委員会「第28回評議員会」において庭野日鑑会長が、任期満了に伴い3期12年を務めた日本委員会会長を退任し、新たな会長として評議員で天台宗妙法院門跡門主の杉谷義純師が選出された。WCRP日本委員会が2012年より公益財団法人に移行して以来、初めての会長交代となった。

評議員会後には記者会見が行われ、庭野前会長、杉谷新会長、戸松義晴理事長らが出席し、一般紙、宗教専門紙12社22人のメディア関係者が取材した。



席上、庭野前会長は、WCRP日本委員会がこれまで活発に活動を行うことができたのは、先達



庭野前会長（左）と杉谷新会長

たちの尽力のおかげであったと述べ感謝の意を表明した。そして、杉谷新会長がこれまでに日本委員会の事務総長や理事長を務めたことや、公益財団法人への移行時に特別諮問委員会委員長として尽力されたことを振り返り、「日本委員会の新しい会長には、杉谷先生ほど適任の方はおられないと私は思っております」と述べた。そして、今後の日本委員会の活動について、「諸宗教

者を中心にした活動によって、思いやりのあふれる社会・調和のある世界が実現することを心から願っている」と語った。

続いて、杉谷新会長が就任の挨拶を行い、WCRP/RFP日本委員会の歴史を振り返りながら、宗教・宗派の違いを超え、協力して世界の平和実現に尽力することの重要性を改めて強調した。そして戦争や紛争、災害時における人々の苦しみや悲しみに寄り添うなど宗教者の特徴を活かした活動の必要性を述べ、「WCRPの発足の目的に少しでも近づけるよう、誠心誠意持てる力を十分に発揮していきたい」と語った。

新会長の杉谷師は、1942年東京生まれ。慶応義塾大学法学部法律学科を卒業し、大正大学大学院博士課程単位取得。その後、寛永寺執事、比叡山宗教サミット事務局長、天台宗事務総長、文部科学省宗教法人審議会委員、大正大学理事長などを歴任。2017年9月には三十三間堂本坊妙法院門跡門主第五十二世に就任したほか、天台宗機関問会会長を務める。WCRP日本委員会では、1990年から評議員や事務総長を歴任。2012年の公益財団法人移行時に理事長に就任し（3期6年）、18年からは評議員を務めている。

和解の教育タスクフォース主催 第3期『平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー』実施

6月29日～30日、連続セミナーである第3期『平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー』の第1回目が開催された。同セミナーは大学、国際機関、NGO、宗教関連団体の専門家などから、対立変容の手法について学び、足元の課題から国際レベルまで、和解をもたらす人材を育成することを目指し開講している。

第1回目のテーマは「心をむける」。自分に向き合い、共生社会の中で共に生きる他者に心をむけることを主眼とし、約30名が参加した。

初日の開講式では、本タスクフォースの責任者である山本俊正氏（元関西学院大学教授）が挨拶を述べた。アイスブレイク後、



ワークショップ

本タスクフォースの運営委員の松井ケティ氏（清泉女子大学教授）による「平和・インナーピースについての」の講義が行

われた。平和の定義や平和の段階、和解のプロセスといった概論を学び、ワークショップでは、自己肯定によって自分をリセットすることができるかと相手と建設的な対話を行うことができることを体験を通して学んだ。

参加者は曹洞宗大本山總持寺を参拝し、ゲツペルト昭元老師の案内のもと、精進料理、ご法話をいただいた。旧東ドイツで生まれ育ったゲツペルト師は、日本文化や哲学に魅せられ、坐禅体験をしたことから『禅道』を究めたいとの思いで来日したと語った。坐禅修行は自分の心を見つめ、外に救いを求めるのではなく、自分自身で悩みや苦を克服することを示す修行であると述べた。セミナー参加者も坐禅を行ない、禅の修行を通して自己を見つめる体験をした。



總持寺にて

夕食会では、同セミナーに第2期から参加している飯野真理子氏がファシリテーターを務め、交流を深めた。

翌30日、前日の振り返りの後、ジェフリー・メンセンダイク氏（桜美林大学准教授）による「人間の尊厳について」と題した講義を受けた。ジェフリー氏によると、尊厳とは「生きるものすべての価値と弱さを認めて受け入れていくことからくる内面の平安である」と紹介した。グループワークを通して、自身の尊厳が守られた経験や傷つけられた経験を分かち合い、それぞれが尊厳に目覚めるきっかけとなるような問いかけを行った。ジェフリー氏は、尊厳はすべてのいのちあるものの共通財産であると強調した。

午後には、山本責任者の案内で関帝廟を見学、横浜ユニオン教会、横浜山手聖公会を訪問した。参加者らは、徒歩圏内にある横浜市内の宗教の多様性を肌で感じる機会となった。

その後、松井運営委員より「多様性、多文化共生について」と題した講義が行われ、他者を知る努力について事例を交えながら語られた。

参加者からは「相手を大切に思うのはどの宗教も同じ」「他者のことを考えると同時に自身を内省することの重要性を学んだ」「今回の学びを活かして卒業論文のテーマとして追求したい」といった声が寄せられた。

第2回は10月26～27日に実施予定。

青年部会

弓矢八幡のチャリティーバザーへブース出展

4月21日、『第38回弓矢八幡・愛の会和歌山チャリティーバザー』が弓矢八幡本部(和歌山県西牟婁郡白浜町)で開催され、青年部会がブースを出展した。弓矢八幡の信者や関係者、地域の人びと約150人が訪れ盛況だった。同バザーは、災害支援や地域の社会福祉支援のために毎年実施されていたが、今回はコロナ禍を経て、約4年ぶりの開催となった。



参加者の好きな文字を一筆書き

(清水寺成就院住職)の一筆書き色紙のプレゼント、感じる地球儀の展示や「いのちの森」づくり

プロジェクトの紹介を行った。WCRP日本委員会の取り組みを知っていただく機会となった。

閉会式で、日本委員会事務局の谷江史嗣スタッフがあいさつに立ち、広く地域社会に門戸を開いた取り組みを行っている林丈嗣活動委員(弓矢八幡教主)、林大道青年部会幹事(弓矢八幡副教主)をはじめ弓矢八幡の信者の皆さまの取り組みに感銘を受けたこと、バザーの売上金から青年部会へ寄付をいただいたことへの御礼を述べた。

WCRPの活動

《7月》

3日 人身売買禁止タスクフォース第1回会合(オンライン)

9~10日 平和のためのAI倫理国際会合(広島・国際会議場他)

14日 気候危機タスクフォース「いのちの森プロジェクト」鎮守の社安全祈願祭(埼玉・所沢)

27日 人身売買禁止タスクフォース公開学習会「人間の尊厳を考える円卓会議」人身取引世界反対デーに向けて(大本東京本部)

29日 平和研究所第4回所員会議・研究会(東京・普門メディアセンター/オンライン併用)

《8月》

4日 比叡山宗教サミット37周年記念「世界平和祈りの集い」

6日 原爆死没者慰霊(広島)

8日 第52回原爆殉難者慰霊祭(長崎)
掲載内容の無断転載を禁ず。

今月のWCRP新熟語

WCRP事務局が日常の中で感じたことを漢字2文字で表し、新しい熟語を作ります。

観愛・会 (AI/エイアイ)

広島で行われた平和のためのAI倫理国際会合は、世界の宗教者の叡智が集い、人類共通の幸福を願う会合となった。